

令和 7年 7月23日

各関係機関の長 様

出水保健所長

ヘルパンギーナ流行に関する警報発令について（通知）

日頃から感染症予防対策業務につきましては、格段の御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、感染症発生動向調査事業によるヘルパンギーナの定点当たり発生報告数が警報発令基準〔6〕を超えたため、管内に流行発生警報を発令しましたので通知します。

なお、当保健所管内の過去3週は下記のとおりとなっております。

また、調査情報を県のホームページに掲載しています。

記

第27週(6/30～7/6)	第28週(7/7～7/13)	第29週(7/14～7/20)
4.00	1.00	15.00（警報発令）

問い合わせ先

〒899-0202 出水市昭和町18-18
北薩地域振興局保健福祉環境部
出水支所（出水保健所）保健係
担 当 片平，今村
電 話 0996-62-1636（内線204）
FAX 0996-63-1114

ヘルパンギーナについて

1 ヘルパンギーナとは

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とし、夏期に流行する小児の急性ウィルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。

2 症状

主症状は発熱、咽頭粘膜の発赤、口腔内の小水疱です。

発熱時に熱性けいれん、口腔内の疼痛等に伴う脱水症を呈することがありますが、ほとんどは予後良好です。

3 感染経路

感染経路は、接触感染を含む糞口感染と飛沫感染であり、急性期にもっともウィルスが排泄され感染力が強い。回復後も2～4週間の長期にわたり便からウィルスが検出されることがあります。

4 予防方法

ヘルパンギーナについては、通常は対症療法のみであり、発熱や頭痛などに対してはアセトアミノフェンなどを用いることもある。

特異的な予防法はないが、感染者との密接な接触を避け、流行時にはうがい、手指の消毒を励行する。

・手洗いとうがいを励行しましょう

排便後、患者の看病や介護後、調理の前、食事の前、外出から帰宅したときなど